

WHO ファクトシート

危険な中絶の防止

Preventing unsafe abortion

2016年5月

重要な事実

- ・2010年～2014年の間において
 - ・平均すると、世界では毎年5600万件の人工中絶(安全なもの、危険なものを合わせて)が行われた。
 - ・15～44歳の女性1000人につき35件の人工中絶が行われた。
 - ・全ての妊娠の25%が人工中絶で終わっている。
 - ・中絶割合は、先進地域よりも発展途上地域で高かった。
- ・世界中では、毎年約2200万件の危険な中絶が行われていると推定され、そのほぼ全てが発展途上国において行われている。
- ・2008年、危険な中絶により推計4万7000人が死亡している(注1)。影響はアフリカに偏っており、全ての中絶関連死亡のうちほぼ3分の2を占めている。
- ・途上国では毎年約500万人の女性が、危険な中絶の結果として入院している。一方で危険な中絶による合併症を患う女性の300万人以上は治療を受けていない。
- ・危険な中絶による主要合併症の治療のための年間コストは、6億8000万ドルと見積もられる(注2)。
- ・人工中絶が、適切に訓練された者によって正しい技術を使って行われた場合には、安全な手段となる。
- ・ほぼ全ての中絶による死亡やそれに伴う障害は、性教育や効果的な避妊法の使用、安全で合法的な中絶及び合併症へのタイムリーな治療によって防ぐことができる。

注 1) Unsafe abortion: global and regional estimates of the incidence of unsafe abortion and associated mortality in 2008, sixth edition; 2011. Department of Reproductive Health and Research, World Health Organization. http://www.who.int/reproductivehealth/publications/unsafe_abortion/9789241501118/en/

注 2) Vlassoff et al. Economic impact of unsafe abortion-related morbidity and mortality: evidence and estimation challenges. Brighton, Institute of Development Studies, 2008 (IDS Research Reports 59).

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Preventing unsafe abortion ファクトシート原文は [こちら](#)